

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	895.00	2020/11/16
High	964.50	2020/11/20
Low	889.95	2020/11/16
Close	950.50	2020/11/20

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3010.00	2020/11/16
High	3217.00	2020/11/20
Low	3001.00	2020/11/16
Close	3172.00	2020/11/20

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2331.00	2020/11/16
High	2380.00	2020/11/19
Low	2283.00	2020/11/19
Close	2328.00	2020/11/20

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	7843.00	2020/11/16
High	7964.00	2020/11/16
Low	7636.00	2020/11/19
Close	7773.00	2020/11/20

ニュースエクスプレス

ディーゼルエンジン大手Cummins、水素化計画を推進—トラックに先行して鉄道車両を

商用ディーゼルエンジン最大手のCumminsでは二酸化炭素排出量ゼロの未来に向けて、クリーン燃料を生産する水素電力システムと電解槽を供給するという一大計画を立案し推進中である。

同社の中心となる売れ筋はトラックであるが、短期予測では鉄道車両とバスにより大きな商機があると見る。

米インディアナ州コロンバスに本社を置き、船舶、商用ピックアップトラック、運搬車両、バス、セミトレーラーのディーゼルエンジンを製造販売する同社では、「水素の日」の発表において、自社での水素製造を補強するための燃料電池、固定動力システム、燃料タンク、電解槽の生産を含む総合的戦略を披露した。

同社の商用トラック用水素パワートレインは将来的に供給可能になるであろうが、その市場開拓は、更なるコスト削減を図りディーゼル動力システムの価格にまで下げる必要があるため、長い道のりになるであろう、と同社新動力部門責任者のエイミー・デービス氏。

<https://anonw.com/2020/11/17/diesel-engine-giant-cummins-plans-hydrogen-future-with-trains-coming-before-trucks/>

BMW、Toyotaとの提携を2025年以降も継続—最高経営責任者が予見

先週木曜日、BMWのオリバー・ツィプセ最高経営責任者はToyotaとの結束を強化し、現在の独日両社間の提携を燃料電池とコンバーチブルを中心に据え、2025年以降も継続したいと述べた。

燃料電池車での協業とスポーツカーの共同開発を含む現在の提携は、2025年以降も続くだろうとツィプセ氏。

また、BMWでは車種の絞り込みによるコスト削減策を模索中であると同氏は語った。

<https://www.reuters.com/article/us-bmw-toyota-alliance-idUSKBN27S27L>

英国、ガソリン車・ディーゼル車販売禁止を2030年に前倒しへ

ボリス・ジョンソン英首相は、同国の二酸化炭素排出量実質ゼロ目標の実現に向け発出している数多の新政策の一環として、ガソリン車とディーゼル車の新車販売の禁止を2030年に前倒しするとみられる。

Financial Times紙の報道では、同首相は今週にもガソリン車とディーゼル車の新車販売の最終期日を決定するものとしている。この2030年への新工程は、2050年までに排出量実質ゼロを達成したい英国の取り組みを後押しするものとみられる。

運輸は英国全体の炭素排出の30%以上を占める同国最大の炭素排出産業である。この割合には航空機も含むが、道路車両だけでは全英の排出量の19%にあたる。

<https://www.euractiv.com/section/energy/news/uk-set-to-move-petrol-and-diesel-ban-forward-to-2030/>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA

WPIC直近の活動

- WPICは2020年第三四半期のレポートを11月18日に発表致しました。白金の需給が37トンの供給不足になるとの見通し。詳しくは下記をご覧ください。

[https://platinuminvestment.com/files/786933/WPIC\\_PR\\_PQ\\_Q3\\_2020\\_20201118\\_JA.pdf](https://platinuminvestment.com/files/786933/WPIC_PR_PQ_Q3_2020_20201118_JA.pdf)

- BASF、三菱商事RtM中国、REFIRE合計3社はWPICのアンニュアルコンファレンスをスポンサーすることに。12月4日蘇州で開催する予定。それに、BASFはトップスポンサーとして午後にサブフォーラムを開く予定。本サミットでは、「新エネ・新素材・新エコ」をテーマに関連分野のトップ企業と権威ある専門家が一堂に会し、現在の国内外の政治・経済情勢と中国新エネルギー・新素材産業の更なる発展に向けて、白金族金属の科学技術における最新活用などを共に検討する。詳しくは

<https://www.huodongxing.com/event/8569318933700>

- 日本経済新聞11月19日付けの朝刊にWPICの第三四半期のレポートを下記の報道「プラチナ供給不足が最大 今年37トン、鉱山・工場停止響く」に取り上げた。

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO66391650Y0A111C2QM800/>



@wpicjapan